

## ◎ピリスコピン点滴静注 50 [注]

【重要度】★ 【一般製剤名】イオトロクス酸 iotroxic acid 【分類】ヨウ素化合物製剤

【単位】◎100mL/瓶 [10.55%]

【常用量】1回 100mL

【用法】30～60分で点滴静注

【透析患者への投与方法】透析前に必要最小量を投与。添付文書上は重篤な腎障害患者には原則禁忌 (1) 胆汁排泄率が高いためイオパミドール、イオヘキソールに比し安全に使用できる (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】Ccr>50mL/min：減量の必要なし、Ccr 10～50mL/min：腎不全患者では Na 負荷による K 排泄の阻害、窒素負荷により腎不全症状を悪化させることや水・電解質の調節障害により循環不全を起こす恐れがあるため慎重投与、Ccr<10mL/min：重篤な腎障害のある患者では窒素および水負荷の増加により腎機能を悪化させる恐れがあるため禁忌 (1)

【特徴】胆嚢・胆管造影に使用される造影剤。

【主な副作用・毒性】ショック・アナフィラキシー、腎不全、過敏症など

【tmax】1.4～1.8hr (1)

【代謝】代謝されにくい (1) 腸肝循環しない (1)

【排泄】糞便中 78% [iv, 48hr まで]、尿中 10.6% [iv, 24hr まで] (1) 【CL】50mL/min (1)

【t1/2】1.8hr (1) 80min (11)

【蛋白結合率】56～91% [高濃度で低下] (1) 60～90% (11) ビリルビン結合部位に結合するため、高ビリルビン血症時には肝細胞まで到達しにくくなり造影効果が落ちる。

【MW】1215.81

【透析性】資料なし (1) 蛋白結合率が高い条件では除去されにくいと思われる (5)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない

【OW 係数】低い (11)

【更新日】20170417

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。